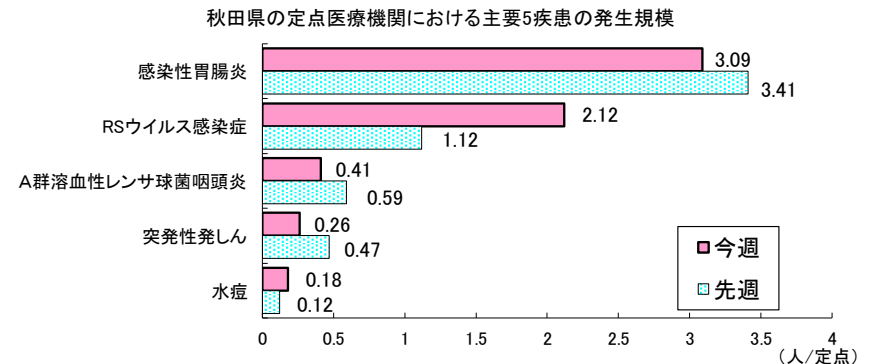




【第16週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 感染性胃腸炎は、県全体で9%減少しています。保健所別では、大館、大仙、湯沢で増加、北秋田、秋田中央で同規模、秋田市、能代、由利本荘、横手で減少しています。
2. RSウイルス感染症は、県全体で1.9倍に増加しています。保健所別では、秋田市、秋田中央、由利本荘で増加、湯沢で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で31%減少しています。保健所別では、北秋田、能代、秋田中央、由利本荘で増加、秋田市、大館、大仙、湯沢で減少しています。



発生報告

次回(第17週)の週報は、2021年5月10日(月)に公表します。

<五類定点対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減	第15週	第16週	増減			
RSウイルス感染症	1.12	2.12	↗	5.00	8.14	↗							0.50	1.25	↗		2.50	↗									0.33		↘	
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.15	0.09	↘	0.43	0.14	↘									0.25	↗	0.25	↘		0.25	↗					0.33		↘		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.59	0.41	↘	0.86	0.43	↘	1.00	0.25	↘		1.00	↗		0.33	↗	0.25	1.00	↗	0.25	0.75	↗	1.75		↘		0.33		↘		
感染性胃腸炎	3.41	3.09	↘	8.43	6.29	↘	0.50	0.75	↗	0.50	0.50		4.67	4.00	↘	3.75	3.75		4.00	2.00	↘	0.50	3.25	↗	2.33	1.00	↘		2.00	↗
水痘	0.12	0.18	↗		0.14	↗							0.33	1.00	↗	0.25	0.50	↗	0.50		↘									
手足口病																														
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.47	0.26	↘	0.86	0.14	↘	0.50	1.00	↗				0.33		↘				0.75	0.25	↘	0.50		↘	0.33	0.33		0.33	0.67	↗
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*			
流行性角結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*			
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が由利本荘保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が湯沢保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、水痘(入院例に限る)が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から28人、秋田中央保健所管内から10人、由利本荘保健所管内から1人、大仙保健所管内から1人、横手保健所管内から2人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-15週		
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ベスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
	結核	4291	17	1
	ジフテリア			
二類	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
	細菌性赤痢	4		
	腸管出血性大腸菌感染症	252	5	1
	腸チフス			
	バラチフス			
	E型肝炎	170		
三類	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	24		
	エキノコックス症	11		
	黄熱			
	オウム病	1		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	2		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
四類	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	18		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-15週		
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	68		
	デング熱			
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	23		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	1		
	マラリア	4		
	野兔病			
	ライム病	4		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	308	4		
レプトスピラ症	2			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	148	1	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	62	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	481	6	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	6		
	急性脳炎	92		
	クリプトスポリジウム症	1		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	53		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	198	2	
	後天性免疫不全症候群	274		
	ジアルジア症	11		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	67	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症			
	侵襲性肺炎球菌感染症	353	4	
	水痘(入院例に限る)	79	1	1
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	1742	15	
	播種性クリプトコックス症	35		
	破傷風	22		
	パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	30		
百日咳	173	3		
風しん	5			
麻しん				
薬剤耐性アシネトバクター感染症				
* 新型コロナウイルス感染症	225	42		

* 新型コロナウイルス感染症

トピック

<ウイルス性結膜炎について>

代表的なウイルス性結膜炎として、咽頭結膜熱、急性出血性結膜炎および流行性角結膜炎の3つがあります(表)。結膜炎は様々な原因で起こりますが、ウイルスの感染によって起こるウイルス性結膜炎では人から人へ感染が広がるため注意が必要です。

■症状

まぶたの裏側と白目の部分を覆っている膜に炎症が起こり、目の充血、かゆみ、異物感や痛み、涙や目やにの増加などの症状がみられます。疾患によっては、発熱を伴う場合もあります。通常、咽頭結膜熱と急性出血性結膜炎は1週間、流行性角結膜炎は2~3週間程度で治ります。ただし、咽頭結膜熱では治療後も数週間、便の中にウイルスが排出されます。

■感染経路

主にウイルスのついた手で目をこすることによって感染します。また、咽頭結膜熱では患者の咳やくしゃみによる飛まつから感染する場合があります。

■予防

- ・石けんと流水で手や指をよく洗う
- ・目やにや涙はティッシュペーパーなどの使い捨てのもので拭き取り、すぐに捨てる
- ・タオル、洗面用具などを共用しない
- ・人混みを避ける
- ・休養を十分に取る

表 各種のウイルス性結膜炎

疾患名	原因ウイルス	特徴的な症状
咽頭結膜熱(プール熱)	アデノウイルス(3型、4型、7型など)	発熱、咽頭炎
急性出血性結膜炎(アポロ病)	エンテロウイルス70 コクサッキーウイルスA24	結膜下の出血、発熱、頭痛
流行性角結膜炎(はやり目)	アデノウイルス(8型、19型、37型など)	角膜の炎症(めやに)、耳の前や顎のリンパ節の腫れ(痛みあり)

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎4件、RSウイルス感染症2件の集団発生報告がありました。

種別	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				利用者(園児等)	職員	計			
感染性胃腸炎	横手市	ますだ保育園	4/19	95名のうち13名	28名のうち0名	13名	4/16 ~ 4/19	下痢、嘔吐、発熱	ノロウイルス
	大仙市	大曲駅前こども園	4/20	170名のうち25名	31名のうち1名	26名	4/14 ~ 4/19	嘔吐、下痢	
		院内こども園	4/21	25名のうち16名	12名のうち4名	20名	4/15 ~ 4/21	嘔吐	ノロウイルス
	横手市	十文字保育園	4/21	120名のうち10名	30名のうち0名	10名	4/19 ~ 4/21	嘔吐、下痢	ノロウイルス
RSウイルス感染症	秋田市	かんば保育園	4/20	123名のうち11名	41名のうち0名	11名	4/12 ~ 4/19	発熱、咳、鼻水	RSウイルス
	秋田市	かわしり保育園	4/23	64名のうち14名	22名のうち0名	14名	4/14 ~ 4/23	発熱、咳、鼻水	RSウイルス



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	能代(1.00)	-

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		